

寺町界限

わたしたちの町のわたしたちの情報誌。新年度号 ■発行/寺町のまちづくりを考える会事務局TEL21-3461 ■APRIL.1997 ■Volume22

只今

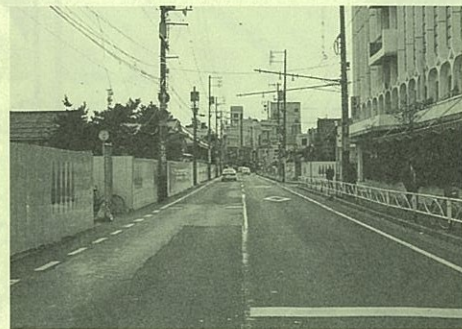
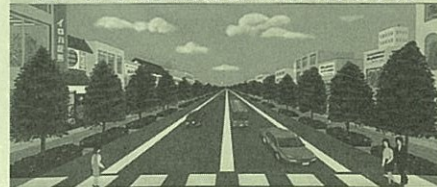
『松江の表玄関

サンセット通り』

(仮称)

着々と進行中

松江停車場白濁線都市計画街路事業



基本方針

◎駅前通りとしての風格を持ち「松江の現代性」を代表する通り
生れ変わるJR松江駅周辺と新しくできる宍道湖岸を結ぶ本線は「松江の現代性」を代表する通りとしての一体感をもつことが必要である。

◎「水都松江」のシンボルである宍道湖へアプローチする通り
JR松江駅からまっすぐ西へ向かう通りであり、水都松江の代表的景観である「宍道湖の夕陽」をめざす通りである。この様な「湖」や「夕陽」を意識したデザイン（例えば、床に絵文字を埋め込む等）を追求することにより、宍道湖へアプローチする通りとしての印象を高める工夫を行う。
地元商店街では「サンセット大通り」という愛称が使われている。

◎親密感と賑わいを演出する商店街の通り
沿道の商店街の改修や建て替えと連携しながら、広い歩道の持つ利点を生かし、親密感と賑わいを演出する商店街通りとする。

寺町便り

《将来の駅通り》

県土木建築事務所の主催で、県道の景観検討委員会が、2回開会されました。出席者は関係町内会や一般市民、専門家の代表です。我々の会でも、地元商店会の方を中心に、説明会をしました。

《商店街の活性化》

駅本通りや商店会では、地域の商店街や核施設の実施計画を次年度より策定します。島根県、松江市の各種補助事業の研究等の最中です。また、商店会の法人化は、認可申請中です。今のところ、4月中旬に創立総会開会予定です。

《将来の寺町界限》

昨夏の関係4町内会長会議で確認した地域全体の基本計画作りを、松江市と事務局で作成しています。原案が上がり次第、各町内で検討いただきます。万代町のみは、まちづくり協定を締結して、一足早く、実施し始める予定です。

《公営場外舟券売場問題》

松江市議会本会議において、賛成多数で可決されました。

①美香穂 ②阿雅紗 ③レディスイトクマ ④ぶちえーる ⑤F・K理容院 ⑥更科食堂 ⑦土井日進堂薬局 ⑧スイング ⑨昌子商店 ⑩ナショナル会館 ⑪やよいデパート ⑫STRAW ⑬田村印舗 ⑭福本時計店 ⑮原鳥獣店 ⑯三栄堂 ⑰タカキ楽器 ⑱サンキョウ美容室 ⑲長野清光堂 ⑳メガネイワセ ㉑べん慶 ㉒富田茶舗 ㉓錦弘堂 ㉔石富呉服 ㉕パチンコユナショナル ㉖とさわ寿し ㉗神戸ユキ ㉘千鳥寿し ㉙KOKO ㉚魚富 ㉛トビックス ㉜レザークラフトサロン ㉝珍楽軒 ㉞フルーツフラワー小西 ㉟染屋 ㊱あゆみ ㊲江本衣料 ㊳Bee West ㊴ろんじん

一年前の寺町界限

編集後記

先日、テレビで中華街の特集を見た。すばらしい一言であった。料理がすばらしいのではない、各店主、各料理人である。
100、200メートルのなかに数十軒、数百軒の料理店がひしめき、それでいて、繁盛していない店はなく、訪れた人々は皆満足してかえっていく。それが中華街である。
裏を返せば、個店の努力はあたりまえ、どれだけ他店と差別化できるかが超繁盛店へのポイントである。これを松江の商店にあてはめたらどうであろうか、いきのこれる商店はあるのだろうか、大型店のマニュアルに依存したやりかたでは通用しない世界である。こう考えれば個店は大型店に対抗できるのではないかと。少々乱暴な考えだが否定することはできない。
食べ物だけをとって言えば大型店、郊外ファーストフードがお客様を集中させる時代は終わったと確信している。松江に大型店時代が到来してから約二十年、大型店を肥やしとして、これからが個店の時代だと考えたい。
(尾郷良太)



樹種

松江市全体の緑化計画や、JR松江駅前広場の整備計画と連携をとる必要があるが、樹形の良さ、成長の速さ等からケヤキの大木とする。低木植栽は行わない。

植栽計画

〈コンセプト〉

低層建築、高層建築、和風の寺院建築の混合となるJR松江駅から宍道湖岸まで至る通りの一体感を演出する要素として街路樹の役割は大きい。

街路灯計画

〈コンセプト〉

「松江の現代性」を代表する通りとしてモダン系デザインとする。

歩道灯

「少し複雑で、重厚感もあるモダン」
※ポール等の色彩は周辺道路と合わせ、つや消しのこげ茶とする。

歩道部

「松江の現代性」を代表する石舗装。

停車帯部

脱色アスファルトと小舗石の組み合わせによるパターンをつくり第3のゾーンとしての表示を行う。

車道部

アスファルト舗装を基本とする。

舗装計画

〈コンセプト〉

JR松江駅から宍道湖畔に至る目抜き通りにふさわしく、けばけばしさは避け品位と格調を持った舗装とする必要がある。

